

A 学 級 2 ・ 3 年	国語	「じどうしゃくらべ」 9時間	概 要	目標、ワークシート、評価	適
手 立 て	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を書く速さや習熟度に合わせた、ワークシート。(なぞり書き、本文を見て書く) ・周りが気になってしまう児童は席を端にする。 ・タイムタイマーを使用し、残り時間を示す。 ・挿絵や動画を見る。 ・色分けをして線を引く活動を毎時間とする。 ・見通しをもって活動できるように、やることを示す。 	児 童 の 様 子	<ul style="list-style-type: none"> ・本文を見て答えを書いている児童は、言葉の文字が抜けることがあった。課題に取り組む前に文字の抜けづらい書き方を教えるとできた。 ・なぞり書きの児童は、答えを口頭で話しても文字化したときに、自分が何を書いているのか理解していないことがあった。文字と音声不一致。 ・時間を気にしながら、作業をしていた。 ・自動車の仕事とつくりを視覚的に認識することができている児童がいた。 ・毎時間同じ学習方法をとることでパターン化され、児童が自身で進んでいた。 		
成 果	<ul style="list-style-type: none"> ・実態に合わせてワークシートの書き方を変えたため、個別に学習する時間を取り、一人一人の学習を見ることができた。 ・時間を設定して学習を進めたことで、児童自身が時間を気にして学習する習慣ができた。 ・自分の得意な分野への学習について、前向きに学習する姿がみられた。 ・同じ学習を繰り返していたため、児童が一人で学習を進められる場面が増え、支援が必要な児童の支援をすることができた。 	課 題	<ul style="list-style-type: none"> ・音声と文字が一致しない児童のワークシートはもう少し工夫が必要だと分かった。 ・言葉の意味を理解していないところが見られ、問題の意味を理解していないことがあったため、語彙を増やす必要があると分かった。 ・文字が抜けている時の、声の掛け方を工夫すること。 		

